



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

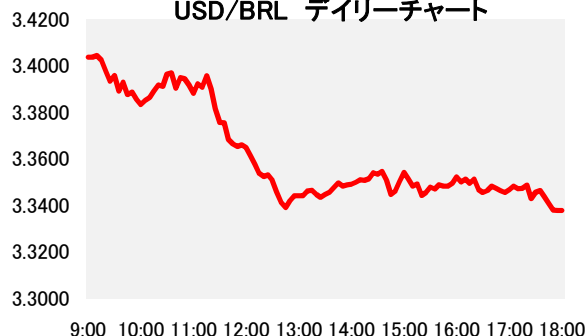
			12月6日	12月7日	12月8日	12月9日	12月12日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.4100	3.3920	3.3750	3.3800	3.3370	-0.0430
	BRL/JPY	Spot	33.44	33.55	33.78	34.09	34.49	+0.40
	EUR/USD	Spot	1.0717	1.0759	1.0618	1.0553	1.0634	+0.0081
	USD/JPY	Spot	114.02	113.82	114.01	115.22	115.11	-0.11
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.844	12.819	12.777	12.691	12.696	+0.005
	Future	1Year(p.a.)	12.036	11.957	11.939	11.921	11.865	-0.056
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.406	2.430	2.555	2.604	2.442	-0.162
	USD	1Year(p.a.)	2.593	2.595	2.685	2.736	2.538	-0.198
株式	Bovespa指数		61088	61414	60677	60501	59179	-1,322
CDS	CDS Brazil 5y		301.72	293.01	290.50	291.90	291.25	-0.65
商品	CRB指数		192.526	190.852	191.412	191.979	193.346	+1.37

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

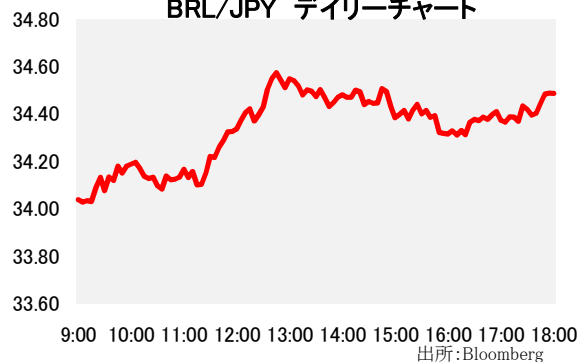
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
貿易収支(週次)	--	\$481m	\$384m
(米)月次財政収支	-\$133.3b	-\$136.7b	-\$64.5b

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

ゴールドファイン 伯中銀総裁	COPOMは今現在の経済状況に応じていつでも金融政策を適用することができる。
-------------------	--

4. トピックス

- 週末に地場大手建設会社が行った司法取引において、テメル大統領の名前が挙がったことが報道された。又、世論調査で同氏の支持率が3月の調査と比較して低下したことも明らかになった。
- 本日のレアルは3.3780で寄り付いた後、上記の内容がレアル売り材料となり直ぐさま日中安値となる3.4070を付けた。しかし直後から大口の資金流入の噂が聞かれるとレアルはじりじりと買い戻され、本日の高値となる3.3370を付けた。午後に入ると3.3400から3.3500の間で小幅に推移し、結局3.3370でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.43%から▲3.48%に、2017年予想は0.80%から0.70%に下方修正された。また、2016年のインフレ率予想は6.69%から6.52%に下方修正され、2016年末の予想為替レートは3.35から3.39にレアル安方向へ修正された。
- サウジアラビアは原油の減産に「満足している」と、国営サウジ通信が報じたことで、WTI原油先物は上昇した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。